

# 臨時職員採用の 継続について

## 特別基金事業で対応 ／産業振興課長



はまだ じゅんいち 議員  
浜田 純一

### 答

松田 二 産業振興課長

現在民間企業の委託、また町の直轄事業として失業者の就業の場を高知県緊急雇用創出臨時特例基金事業により、二十一年度対策として、五件の申請をしている。

また、ふるさと雇用再生特別基金事業において、現在四事業の申請をしている。

事業従事者十二人のうち新規雇用者九人を計画している。

その中で幡多ヒノキ育成支援事業として、間伐、下刈等による幡多ヒノキの育成をしていく。森林整備公社は、未整備森林区域に新たな整備計画、約120haを策定し、三カ年計画により森林組合への委託による事業計画も申請している。

町としては、これらの事業を各関係担当課において、事業展開を図り、失業者の雇用対策として対応する考えで予算計上している。

**問**  
二月十六日臨時職員の方々、松原の除草作業をしているのを視察した。障がいのある方も参加していて、いい事業だと感心した。  
高知市では就業相談会を開き、山の仕事に失業者が殺到という記事が載っていた。この不況はまだまだ続くと思う。地球環境の悪化が叫ばれている今、黒潮町も継続して緊急雇用を募集し、森林組合で利用されていない口座に一千五百万円あるがこれを使って、森林組合と連携し、間伐事業を実施してはどうか。

## どうするのか 三浦小学校 総合的な計画、 対応策を／町長

### 問

今年の二月末頃には各学校の耐震診断が出揃うとの事であった。

もらった資料を見ると、二十年度に実施した耐震診断において、入野小の北棟と佐賀中学校がI S値、Q値が数値的には不可になっている。

三浦小の数値を見ると、若干二校より上回っているが、あまり変わらない。加えて不同沈下もあり、悪くなることはあるが、良くなることはない。また、耐震診断は十九年度の実施のもので、今はもつと悪くなっている可能性もある。

不同沈下も放っておけば沈下する一方であり、三浦小の保護者は、子供達が安全で安心して勉強ができるように、

一日も早い対策を求めてヤキモキしている。

三浦小の校舎の改善要望に一〇七四人の署名が届いていると思うが、建物は、梁と柱が、直角になってこそ強度が保たれると思う。三浦小のように、梁がたわむということ、表には見えてないが、他の箇所にも無理が生じており、その証拠に雨漏りがあったり、床に亀裂が生じて傾き、ビー玉を置くと転がったりするのだが、このような危険な校舎の状況を踏まえて、町は三浦小学校をどうするつもりでいるのか。

### 答

下村正直 町長

坂本 勝 教育次長

三浦小学校が大変危険な状態にあるというのは我々も十分にも把握している。同時に他の学校にもそういう状況が大なり小なりあり、確認をした上で、総合的な計画、対応策を立てたいという基本的な考えはある。

現実的には、まだ全ての耐震診断の結果は出ていないが、佐賀中学校、あるいは入野小学校、三浦小学校など、危険

な校舎を放置するわけにはいかない。

早急にその結論を出し、抜本的な対策を講じたい。ただ、町としては全体的な要素を考えながら、安心できる内容のものにしていくというところで進めざるを得ない。そういう手順だけのご理解頂きたい。



臨時職員が松原の整備に参加